

2023年3月15日

## 横浜ゴム、難燃中温耐熱性コンベヤベルト 「FLAME GUARD #2110」を発売

横浜ゴム（株）は、中温耐熱性と難燃性を兼ね備えた難燃中温耐熱性コンベヤベルト「FLAME GUARD #2110（フレイムガード・ニセンヒヤクトオバン）」を発売しました。耐熱性と難燃性を両立した難燃耐熱性ベルトとしては、2021年に発売した難燃高温耐熱性ベルト「FLAME GUARD Super 100（フレイムガード・スーパーヒヤク）」に続き、第2弾商品となります。

近年、焼結鉱<sup>※1</sup> やコークス<sup>※2</sup>、焼結成品<sup>※3</sup> など高温または中温の物質を運搬するコンベヤベルトは、熱によるベルトの劣化を防ぐ耐熱性に加えて、安全性をより高めるため、ベルトの燃焼を防ぐ難燃性（自己消火性）を有する商品のニーズが高まっています。横浜ゴムはこうしたニーズに応えるため、様々な耐熱性ベルトや難燃性ベルトを生み出してきたゴム配合技術を駆使し、中温域において両性能を併せ持つ「FLAME GUARD #2110」を開発しました。

「FLAME GUARD #2110」は、国内外で中温耐熱性が高く評価されている耐熱性コンベヤベルト「HAMAHEAT #2110」をベースに開発した商品です。耐熱性能は「HAMAHEAT #2110」と同様の運搬物温度 70～200℃（塊状：70～200℃、粉状：70～150℃）、許容ベルト表面温度 60～100℃を確保しながら、日本産業規格（JIS）の JIS K6324:2013 難燃性コンベヤゴムベルト 3級の難燃性を実現しています。

横浜ゴムは 2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）に取り組んでいます。MB 事業では強みであるホース配管事業と工業資材事業にリソースを集中して MB 事業の成長を牽引し、安定収益を確保できる構造を目指しています。その施策のひとつとして工業資材事業では、得意市場であるコンベヤベルト市場における圧倒的なプレゼンスの確立を掲げています。

※1：粉上にした鉄鉱石に粉コークスと石灰石を混ぜ一定の大きさに焼き固めた物

※2：石炭を高温で蒸し焼きにして抽出した物

※3：金属やセラミックスの粉末を成形し融点より低い温度で焼き固めた物

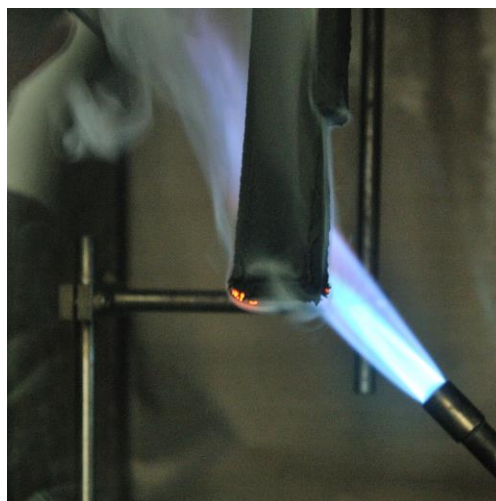


「FLAME GUARD #2110」（イメージ）

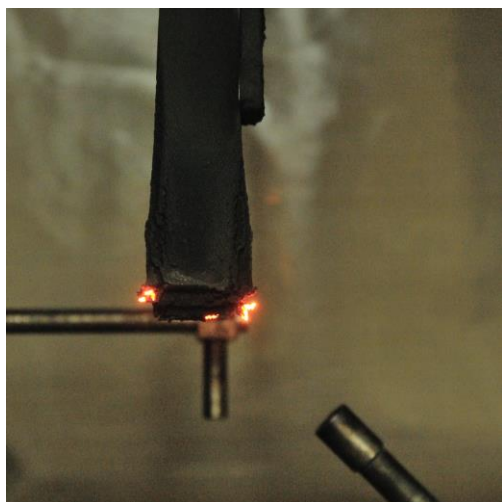
【バーナーによる難燃性試験の様子】



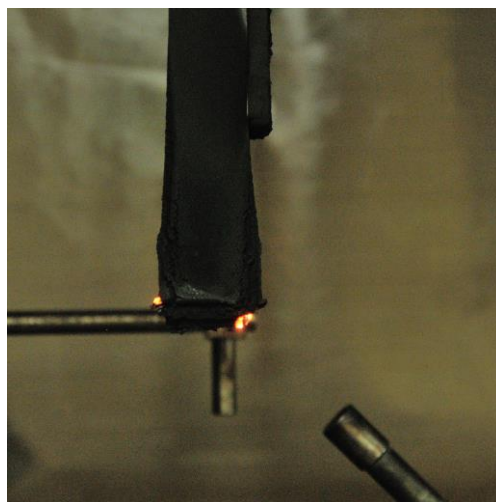
<点火中>



<点火を停止する直前>



<点火停止から 1 分後 / 送風開始>



<送風開始から 1 分後>

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田  
TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552